

# 新島の火山活動解説資料(平成25年3月)

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。  
平成19年12月1日に噴火予報(平常)を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

## 活動概況

### ・噴気など表面現象の状況(図2)

式根(丹後山の西南西約4km)に設置してある遠望カメラによる観測では、丹後山山頂部に噴気は認められませんでした。

### ・地震や微動の発生状況(図3 - 、図4 - )

新島付近を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。

### ・地殻変動の状況(図3 - 、図4 - )

GPS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

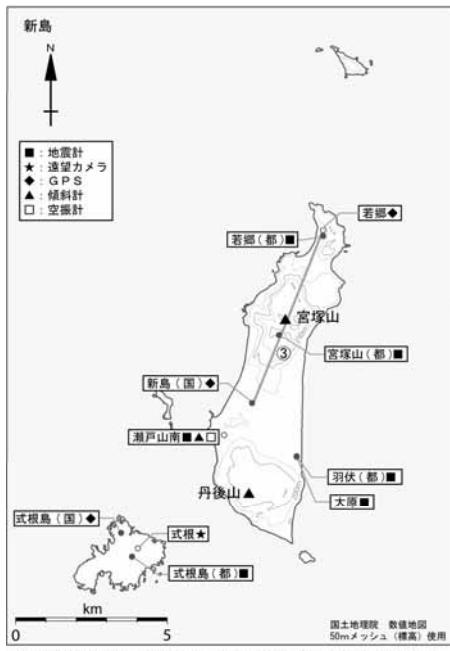


図1 新島 観測点配置図  
GPS基線は図3 のに対応しています。

図2 新島 丹後山山頂部の状況

(3月21日、式根遠望カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成25年4月分)は平成25年5月10日に発表する予定です。

この記号の資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000(行政界・海岸線)』『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号: 平23情使、第467号)。

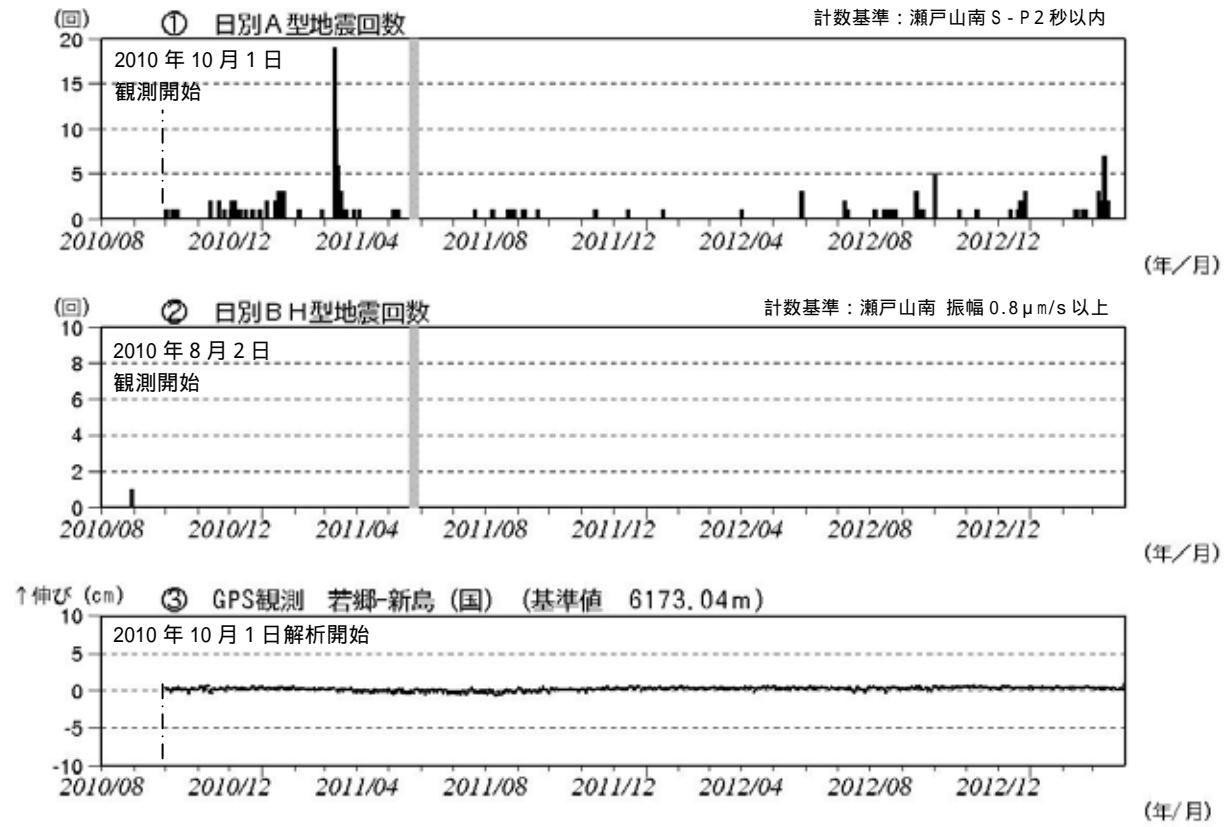


図3 新島 火山活動経過図(2010年8月2日～2013年3月31日)

新島周辺の日別地震回数

- 図の灰色部分は機器障害のため欠測。

GPS連続観測による基線長変化 (国): 国土地理院

- は図1のGPS基線に対応しています。

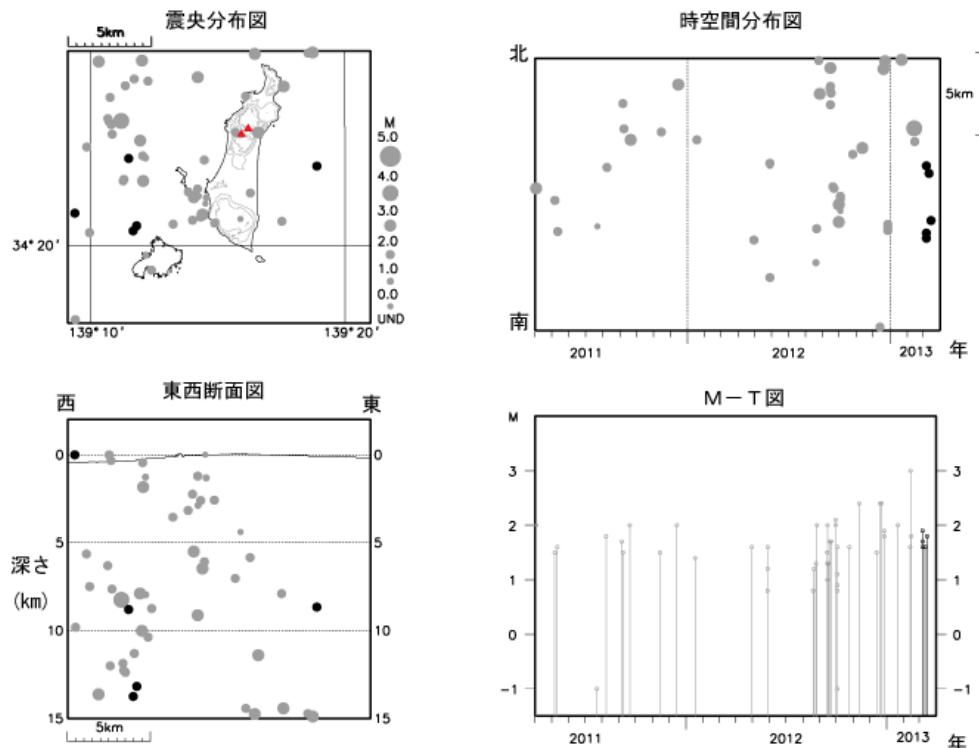


図4 新島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2011年4月1日～2013年3月31日)

: 2011年4月1日～2013年2月28日 : 2013年3月1日～3月31日

M(マグニチュード)は地震の規模を表します。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれてあり、後日変更することがあります。